

2009年9月10日

東海地震に備え小学校に防災ガラスを寄贈

～「合わせガラス」が児童・地域の安全を守ります～

AGC旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、愛知県の武豊町立武豊小学校に防災ガラスである「合わせガラス」を寄贈しました。

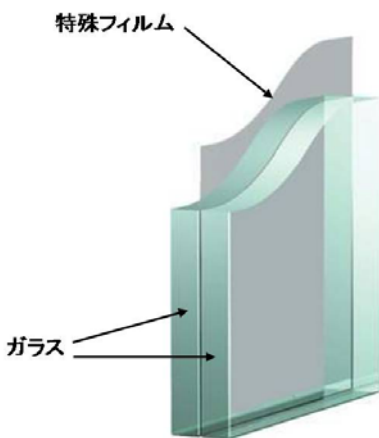
「合わせガラス」は地震や台風の際にガラスが割れて飛び散るのを防ぎ、児童や避難者をガラスの破片によるケガ等から守るため、災害対策に積極的な学校において採用され始めています。寄贈先小学校のある東海地方では大規模な地震の発生も予測されており、高い防災性能を有する「合わせガラス」が児童や地域住民の方の安心・安全につながります。

寄贈にあたり、武豊町長 初山芳輝様、武豊小学校長 榊原雅信様のご出席の上、本日、武豊小学校にて贈呈式が行われました。指定避難場所である同校では、体育館のガラス全て（計 約 175 m²）を合わせガラス「ラミセーフセキュリティー」に、校舎正面玄関入りロドアのガラスを校章入りのデザイン合わせガラス「ラミコレ」に交換しました。



武豊小学校の校章をデザインした校舎正面玄関の防災ガラス

「合わせガラス」の安全性



「合わせガラス」の断面図

ガラスの飛散防止は、「スクール・ニューディール」構想においても耐震化の実施事項に挙げられているとおり、学校の災害対策として重要視されています。

地震や台風などの自然災害によりガラスが割れて飛散すると、割れたガラスでケガをする、避難所のガラスが割れて避難できない、といった被害が生じることがあります。防災ガラスである「合わせガラス」は、2枚のガラスの間にはさんだ特殊フィルムがガラスを強力に接着しており、ガラスが割れても破片が飛び散りにくいため、被害の発生防止に効果的です。

「合わせガラス」により万一の災害時にも安全な避難場所が確保されるため、学校において採用される例が増えています。

AGCの社会貢献活動 <ガラスパワーキャンペーン>

AGCは、ガラスの持つ機能が、防災や地球温暖化防止に役立つことを知ってもらうことを目指し、<ガラスパワーキャンペーン>を展開しています。この一環として、防災ガラス寄贈活動を2005年より展開し、「合わせガラス」の普及・認知向上を目指しています。今回の寄贈は、武豊小学校が本年の寄贈先選定投票で1位に選ばれたことによるもので、全国で21校目の防災ガラス寄贈先となります。

AGCは、善き企業市民として、今後とも安心・安全な社会づくりに貢献していきます。

以 上

(ご参考) ガラスパワーキャンペーンによる「合わせガラス」の寄贈実績

2006年 8月	山形県山形市立鈴川小学校	2008年 4月	千葉県市原市立国分寺台中学校
2006年 11月	鹿児島県垂水市垂水小学校	2008年 5月	鹿児島県立鹿児島中央高等学校
2007年 1月	鹿児島県鹿児島市立桜島中学校	2008年 8月	三重県名張市立名張小学校
2007年 3月	山形県酒田市立富士見小学校	2008年 9月	長野県飯田市立上郷小学校
2007年 8月	山形県米沢市立松川小学校	2008年 9月	宮城県仙台市立長町小学校
2007年 10月	北海道茅部郡森町立森小学校	2008年 10月	神奈川県横浜市立下末吉小学校
2007年 11月	鹿児島県出水市立東出水小学校	2009年 2月	神奈川県小田原市立下府中小学校
2007年 11月	兵庫県尼崎市立立花小学校	2009年 2月	鳥取県日野町立日野中学校
2007年 11月	熊本市みかんの里振興センター	2009年 2月	奈良県御所市立掖上小学校
2007年 12月	山形県山形大学附属小学校	2009年 9月	愛知県武豊町立武豊小学校
2008年 2月	宮城県延岡市立東小学校		

◎ 本件に関するお問い合わせ先：**AGC**旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕

（担当：兼子 TEL：03-3218-5915 E-mail：info-pr@agc.co.jp）

◎ ガラスパワーキャンペーン 事務局

（TEL：03-6238-4547 E-mail：glasspower@agc.co.jp）

